

編集発行 アイヌ (=ひと) の権利をめざす会  
共同代表 貝澤耕一 / 宇梶静江 / 萱野志朗 / 田澤守 / OKI  
事務局 〒060-0061  
札幌市中央区南1西5 愛生館ビル 501  
NPO さっぽろ自由学校「遊」内  
アイヌ政策検討市民会議事務局気付  
FAX:011-252-6751 TEL:011-252-6752  
kamuycep-project.jimdofree.com

# 地球規模の危機から人類を救う、 先住民がその重要なカギを握っている。

—— Atuy

私も道民の一人、みなさんがたも道民の一人。北海道に生きる人間の考え方として、アイヌの精神文化を、じゃっかんお話ししてみたいと思います。聞いていただけますか？ 祖先の風習に従ってアイヌ語によるご挨拶からいたします。

モンベツ シリコロカムイ、アDOIコロカムイ、オンカミ ドラノ、  
テタアン ウエカルパ、ニシパヘネ カッケマツ エチ、  
イランカラ〜プテ〜

人と初めてであった時の挨拶言葉。和訳する人がいなければわからないと思いますので、彼女に和訳してもらいます。

この紋別の大地を見まもる神々と海を見まもる神々に、礼拝するとともに、ここへお集まりの紳士淑女のみなさまの心にそっと触れさせていただけます。

以後、習い覚えた日本語でお話しさせていただきます。

## 世界でもまれに見る平和な文明

私は、国連で先住民族の権利宣言が採択（2007年）されるそうとう前、1983年に、ニューヨークの国連本部のハマーショルド講堂において、40分ほど演説する機会がありました。アイヌ民族の同胞10人ほどを連れて行って、歌ったり踊ったり、また同時通訳入りで、アイヌの現状と地球規模の人類の未来について、お話しさせていただいたんです。



2020年8月19日、紋別アイヌ協会で、北海道オホーツク総合振興局産業振興部水産課職員らを前に語る Atuy さん。（撮影・平田剛士）

## 署名呼びかけ賛同人

Atuy / 安藤厚 (北海道大学名誉教授) / 飯島秀明 / 五十嵐健治 (紋別アイヌ協会) / 石井ボンベ (原住・アイヌ民族の権利を取り戻すウコチャランケの会) / 伊藤恵夫 (北海道 A A L A 連帯委員会理事長) 井上紘一 (北海道大学名誉教授) / 岩崎裕保 (団体役員) / 上村英明 (市民外交センター共同代表・恵泉女学園大学教員) / 梅澤悦子 (アイヌ協会斜里支部) / 岡崎享恭 / 岡田朋子 (北海道国際交流センター) / 小川隆吉 / 上條直美 (開発教育協会) / 川村兼一 (旭川アイヌ協議会) / 川村久恵 (旭川アイヌ協議会) / 木村二三夫 / 草鹿平三郎 (紋別アイヌ協会) / 草鹿靖子 (紋別アイヌ協会) / 黒田敏彦 / 黒田秀之 (さっぽろ自由学校「遊」会員) / 小泉雅弘 (さっぽろ自由学校「遊」) / 河内美穂 (東京在住 / 文筆業) / 小松澄江 (アイヌ協会厚岸支部) / 小松豊 (札幌郷土を掘る会) / 斎藤亜季 (地球・人間環境フォーラム) / 坂本有希 (地球・人間環境フォーラム) / 佐藤和利 / 佐藤雅一 / 佐藤裕子 (カトリック札幌教区正平協) / ジェフ・ゲーマン / 鹿田川見 / 島田あけみ / 清水裕二 / 曹金時江 (ハンマダン) / 立石喜裕 / 田中治彦 (上智大学グローバルコンサーン研究所) / 田畑豊 (札幌教) / 妻木征男 (アイヌ協会洞爺湖支部) / ティーター・ジェニファー / 殿平善彦 (一乗寺住職) / 豊村みどり (みらいのとびら) / 中島圭子 (モベック・サンクチュアリ・ネットワーク) / 七尾寿子 / 西原智昭 (星槎大学) / 畠山紀子 / 畠山勇志 (紋別アイヌ協会) / 畠山麻里 (紋別アイヌ協会) / 畠山雪江 (紋別アイヌ協会) / 花崎皋平 (さっぽろ自由学校「遊」会員) / 平田剛士 / 広瀬健一郎 (鹿児島純心女子大学) / 藤野知明 / 藤原寿和 (廃棄物処分場問題全国ネットワーク共同代表) / 本多淳 / 本多正也 (先住民族研究会) / 前田朗 (東京造形大学教授) / 牧口充枝 (札幌圏連帯労組) / 松澤聖子 / 松元保昭 (パレスチナ連帯・札幌) / 丸山博 / 三浦忠雄 (日本キリスト教団北海道アイヌ民族情報センター) / 三柴ちさと (日本森林管理協議会) / 水木彩也花 / 三輪敦子 ((一財) アジア・太平洋人権情報センター) / 門別徳司 / 八木亜紀子 (開発教育協会) / 山丸和幸 (一般社団法人白老アイヌ協会理事長) / 結城幸司 / 湯本浩之 (宇都宮大学 / NPO 法人開発教育協会) / 吉井健一 / 吉田邦彦 / 吉田浩正 / 若月美緒子

その時のことを思い起こして、私が死んだらこのことを語る人はいなくなるので、道民の一人としてぜひ聞いていただきたいのですが、私はその時、いま殺されても良い、という思いで発言いたしました。その発言の内容は、大ざっぱにポイントを言いますと、「世界を実効支配している白人のみなさん方の思想・宗教・哲学では、間違いなく、人類は滅亡に向かってしまう」という発言をいたしました。

20 世紀を振り返っても、世界を支配している白人のみなさんがた、植民地主義の名のもとに、自分たちの思想・宗教を世界の先住民に押し付けてきた。その先住民がどういう思想、どういう哲学を持っているのか、あなたがたは何も知らずにきた。ところが(地球規模の環境変化や国際情勢によって滅亡すら危ぶまれている)人類を救済するかもしれない重大な思想・哲学が、世界の先住民にはある、と私は確信しています。先住民は、世界を実効支配している白人のみなさんがたの敵ではなくパートナー、つまりあなたがたの味方なんです。人類滅亡(の危機)から、ともに離脱するために、国連で「国際先住民年」を設けていただけませんか(と提案しました)。理由は、この北海道で、人と人とが大きな争いもなく、何と一万年も平和な時代(縄文=アイヌ)が続いた、世界でもまれにみる平和な文明があったからです。

1984 年が国際コミュニケーション年で、その前年に開かれたこの時の会議には、世界 34 カ国から先住民が集まってきてきていました。その中でこんなお話をしたんです。

## 先住民のなりわいをすべて回復する

畠山さんとは長いおつき合いをしています。どういう議論を経て、こんなに国連で(先住民族の権利宣言が)採択されたのか、日本政府もそれに賛成票を投じたのか、というお話を交わしてきました。地球規模の危機から人類を救う、先住民がその重要なカギを握っている、と。(そのためには)先住民が生活のなりわいにしてきた経済環境、たとえば私たちアイヌであればシャケ、インディアン(にとって)もシャケ。土地に生きている先住民の人たちの生活のなりわいをすべて回復することが大事である、といったことです。

先住民が心身とも健康体になって(はじめて)、地球の人類のみなさんがたに対して、アイヌであれば「未来永劫、共生と循環の思想」、つまり命の循環思想というものを、不特定多数の人に発信することができます。国際先住民年を設けて、悪化した経済的環境から先住民が離脱できるようにすることがとても重要なんだ、というお話をさせていただきました。

国連はその 10 年後、1993 年を「世界の先住民族の国際年」に定めると宣言しました。私はそのきっかけを、1/100 でもつくった当事者の一人です。北海道は横路孝弘さんが知事だった時です。私の本職は作曲・作詞で、アイヌ詞曲舞踊団モシリという音楽グループで活動していました。この年、北海道が主催して、道民のみなさんを札幌市教育文化会館

に無料でご招待して国際先住民年記念コンサートが開かれましたが、モシリはそこで演奏しました。

## 互いに知恵を出し合おう

先住民族の権利に関する国連宣言は、(アイヌが)「アイヌに土地を返しなさい」と言ったら(日本は)土地を返す、「アイヌにサケを捕らせなさい」と言ったらサケを捕らせる、というもののなのです。残念ながら日本は、世界の中で、先住民対策が一番お尻のワースト1なんです。たとえばアメリカは自治区を設けてインディアンの大統領がおります。オーストラリア、ニュージーランドでも、台湾でも、一国の元首が先住民に対して謝罪をして、いろんな対策を行なっています。

残念ながら日本という国は、異文化理解、多文化尊重の哲学が確立していないので、なかなか(先住民族の権利回復が)進まないという現状です。みなさんがた、同じ道民の一人として、歴史的な側面を考えて、良い北海道をつくる、良い日本をつくるにはどうしたらいいか、どう折り合いをつけたらいいか、お互いに知恵を出し合う時期だと思えます。

アイヌ民族が正しいとか、和人が正しいとか、そういう議論ではなくて、どうやったら良い北海道が作れるのか、どうやったら平和な日本になれるのか。お互いに尊重し合って、憎み合うのではなく、互いに助け合って生きていく、そのための知恵を出す時期かな、と思います。

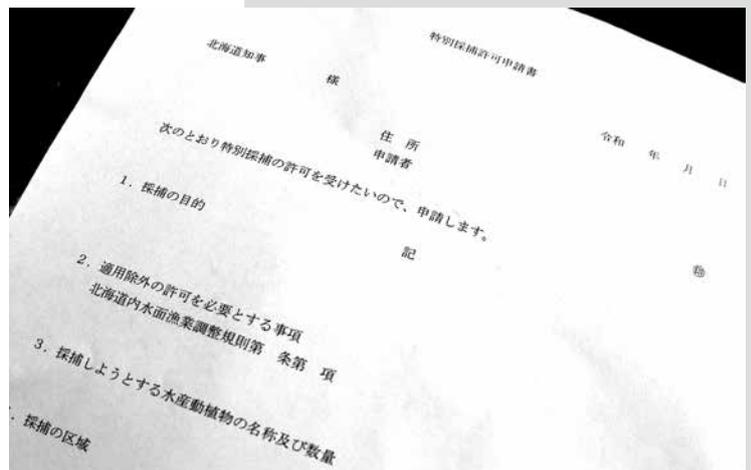
## イタクラマツ——言葉に魂を乗せて

そういったことを畠山さんとは常日頃、話し合っていました。「畠山さん、ぐっと忍耐する時期だ」という話をしたこともあります。畠山さんのインタビューもテープ起こしをして、A4で(両手で量を示しながら)こんなにあります。畠山さんは、決して日本人を恨んでいるわけではなく、日本人の素晴らしいところもよく語っておられます。和人と戦うんじゃなくて、折り合いをつけて、知恵を出し合っていくんだ、というメッセージを持っておられます。

でも「あまりにも対策がひどすぎる」と、おそらく止むにやまれぬ気持ちで今回……(手続きなしのサケ捕獲に至ったんだと思います)。日本が法治国家であることを百も承知で、理解して、でも先ほどの電話でもおっしゃっていましたが、「白黒つけたい」という気持ちで……。

道職員のみなさんが(行政)組織から離脱して発言できない立場はよく理解しています。でも道民の一人として……。アイヌ語でイタクラマツというんです。言葉に魂を乗せて、上司に(今日の報告を)語って、人の道考えたとき、果たしてこのままで良いのだろうか(と考えてください)。

2020年8月19日、紋別アイヌ協会で北海道オホーツク総合振興局産業振興部水産課職員らを前にして、Atuyさんが語った言葉から。



北海道庁担当職員が紋別アイヌ協会に提出を求めて手渡した「特別採捕許可申請書」用紙。

### 署名呼びかけ賛同団体

アイヌ政策検討市民会議／アオテアロア・アイヌモシリ交流プログラム実行委員会／アジア太平洋資料センター(PARC)／APLA(Alternative People's Linkage in Asia)／カトリック札幌地区正義と平和協議会／「環境と先住民」政策研究センター(Cemipos)／グループシサムをめざして札幌／原住・アイヌ民族の権利を取り戻すウコチャランケの会／札幌圏連帯労働組合札幌市に人種差別撤廃条例をつくる市民会議／さっぽろ自由学校「遊」／静内アイヌ協会／市民外交センター／市民社会スペースNGOアクションネットワーク(NANCiS)／日本キリスト教団北海教区アイヌ民族情報センター／熱帯林行動ネットワーク(JATAN)／不戦へのネットワーク／北海道NGOネットワーク協議会／紋別アイヌ協会／ラポロアイヌネイション(旧称・浦幌アイヌ協会)

# 「アイヌ (=ひと) の権利をめざす会」

## 電子署名サイトに寄せられたコメントから

「めざす会」の電子署名サイトに、2020年8月29日現在、2115名の賛同者から電子署名が集まっています。ご賛同とご支援に深く感謝いたします。(敬称略、一部校正しています)

Makishima Yoshiaki	どこの島の占有権をどこの国が強引な手法で主張していると問題提起している日本ですが、国内でも国がアイヌの人に対して強引な行為を行っていたのですね。まずはこの事実を多くの人に知ってもらうことが大切だと思いました！
佐々木 カヲル	先住民族としての権利を求める行動に賛同し、「文化」の枠に閉じ込めようとする政策に反対します。
森 良	先住民族の漁労権を奪う権利はだれにもありません。権利の回復を求めます。
景平 洋子	国は現行規則を緩和する方針を出したようですがあくまで許可制を維持するつもりようです。アイヌ民族を支配コントロールしようという非常に侮蔑的な政策です。完全な先住権の回復を支持します。
高木 幹郎	先住民族に敬意をアイヌ民族・琉球民族、自治権を勝ち取ろう！
Kumazawa Osamu	アイヌ モシリ ネッイヨシツコチ シルーンメノーコ アイエ ワエヌ
池田 さちえ	北海道の鮭をアイヌの人が自由に採るのは、当然の事だと思う。がめつく獲るかもしれないから不許可と思うのは、がめつい人や、権利を奪って来た低能な考えであって、そこを改める事を望む。諸外国の先住民に対する権利回復は、とっくにされて来ているのに、日本はあらゆるテーマに思考停止で何でもかんでも遅すぎている。とてもじゃないが、地球のこれから対等な議論など出来やしない。恥ずかしい限り。ちゃんと数世代先を見据えて、諸外国に追いつく努力をして欲しい。
飯沼 佐代子	畠山さんの勇気ある行動に賛同します。先住民族としての全ての権利が回復されるよう、この問題を伝えて行きたいと思います。
ウータン・森と生活を考える会	日本の企業と消費者は先住民の権利を奪い、自分たちの生活のために犠牲を強いてきた。それは日本でも行われていることなのだ
Shizuka Grover	I stand with you for your right. It is very basic, fundamental right that must be protected and respected by the government and any other stakeholders. Don't give up!
kayano tomoatsu	応援しています！
大久保 雅子	この『カムイ魚』を奪った歴史は、全てのアイヌの人たちの権利と人権を奪った歴史だと思います。わたしも共感して応援していきます。
飯島 秀明	先住民族であるアイヌの人々の同意もなく、一方的に多くの流域でのサケ漁を禁じた政策が誤りの始まりです。アイヌ民族の歴史的苦境に対して責任を負うべき私たち和人は、許可という発想の枠内で特別採捕を緩和するのではなく、アイヌ民族が本来持っているサケ資源に関する権利をいかに補償し、回復し、今後に向けて保証していくのかを考えるべきだと思います。
Eno Nakamura	賛同します。
YAMAGUTI HARUYASU	元から住む人たちから奪った大地と海と川…太古から祈りを捧げた川といのちの、せめてその権利だけでも謝罪と共に返すべし。それがこれから未来に続く地球人の道である。
洋文 青樹	賛同します。
SAKAMOTO JUNKO	賛同します。頑張ってください。
菅沼 えみ	2019年9月1日私も紋別にいました。畠山さんの勇気ある行動に深く感動したものです。あたりまえであるべき人権回復、狩猟権回復！応援します。
水野 浩重	《カムイチェブ＝サケに対するアイヌの権利回復を！》賛同して署名しました。

# に私たちは賛同します。



<https://www.change.org/p/内閣総理大臣-安倍晋三-カムイチュエ-サケに対するアイヌの権利回復を>

辰巳 玲子	アイヌとは、自然の一部としての“ひと”という意味であり、民族の呼称となっています。その歴史は旧石器時代まで遡ることができ、自然から略奪したり、生態系のバランスを崩すことなく、自然というカムイ（神）に感謝し、すべてに宿るスピリットに敬意を払い、暮らしを営んできた民族です。彼らが鮭を獲ることは営みのためであり、古来よりいのちを戴く祈りと儀式が伴う神聖なものです。それらを理解することなく、近代法を行使し、一方的にその法を押し付けることは、まったくの理不尽な行為と言えます。アイヌ民族の生き方、信仰と直接関わることを踏みにじることは許されません。カムイチュエ・サケに対するアイヌの権利回復を訴えるこのキャンペーンに心より賛同します。アイヌの権利は、当然認められるべきものです。
佐藤 真紀	賛同します。
Shimizu Taito	アイヌの文化を残す活動をしている方々にわずかながらエールを！
Matsuhashi Yayoi	アイヌの思いは本当に素晴らしいです。学ばせていただきたいです。
小口 博一	アイヌ伝統の漁法であれば、無形文化財としても意味があるはずで。永久に賛同します。
加納 尚明	賛同します。
牧野 時夫	賛同します。世界では何十年も前から先住民族には当然の権利として認められているものです。
澤田 和子	当然の権利を得るために、先輩方から続く長い戦い。たくさんの人に知ってほしいと思います
藤井 啓彰	アイヌのアイヌによるアイヌのための漁業権回復を。
江川 正幸	アイヌモシリはふるさと。アイヌは縄文の魂をもつ人。学んでゆきたい。
倉貫 眞一郎	畠山会長をはじめ紋別アイヌ協会による原則的な主張と理性的な行動を支持します。よい解決策が見つかればと、願っています。
Taira Mayumi	先住民、アイヌの方々の伝統を是非守ってください。遠くから応援しています。
小林 久公	ーシサム小林です、賛同します。先住民族の権利の保障を支援します。
NISHIOKA Yukio	先住民の権利確立、権利行使を求めます。
大野 朋子	【権利】権利は何も特別なことじゃない。権利は私たち自身の心身の一部だ。権利は私たち一人ひとりに最初からあるものだ。だからアイヌの方々の権利を今すぐアイヌの方々に返してください。
高松 修二	アイヌ民族は北海道の否、日本の先住民族です。心より応援させていただきます。
樋口 みな子	アイヌの権利を守ってください。
Matsumoto Yasuaki	日本政府は植民地主義の反省謝罪から始めよ！日本人は、異属を同化する自民族優越から卒業せよ！
小林 温	入植者は今こそ先住民が持続してきた自然とのつきあい方を学ぶべきと考えます。入植者は乱獲や自然破壊についての反省が必要であり、逆に訴えられるべきは入植者の側だと思います。
kusunoki masaaki	先住民の儀式同様、先住民の権利は守られるべきで、後年に和人が押し付けた「条例？」を超えたものです。畏敬を以て処してほしい。
星 将隆	アイヌの文化や遺産を残していくことは、次世代に繋げていくためにも本当に必要なことです？その為にも声をあげていきましょう！
Hoshikawa Jun	先住権は空疎な観念ではなく、生存に必要な地域資源を得る権利と結びつくもの！
松本 仁	アイヌ文化を保護してください。

有馬 久晶	【カムイチェブ(サケ)に対するアイヌの権利回復】は、2007年の国連先住民族宣言の第26条(…資源に対する権利)[先住民族は、自らが伝統的に所有し、占有…してきた…資源に対する権利を有する。…]に規定されている事に加え、それ以前の道理・倫理としてアイヌは古来より有していたサケ漁等の漁業権を明治政府(日本政府)によって補償もなしに強奪された事に対する謝罪と補償を受ける権利があります。私は【アイヌ(=ひと)の権利をめざす会】の活動に賛同します。
村田 六郎太	本来の権利をないがしろにしてきたことに気付かなかった自分に反省
Yogi Koutaro	琉球民族として、アイヌ民族の権利を支持します。
中尾 志野	アイヌの方達の権利、文化をメチャクチャにしてしまった日本……本当に申し訳ありません…。日本人も今、海外企業の食い物にされています。
吉井 健一 吉井 健一	国会の「先住民族宣言」は国連の同宣言を換骨奪胎したものであり、先住権を認めたものではない。先住権を行使できる社会にする第一歩にしよう。
遠藤 奈緒子	アイヌの人々が、元来持つべきだったすべての権利が彼らのもとの、もどりますように。
松井 久実	文化は博物館に入れておけば良いわけではありません。生きて伝えられる今、共生の未来のために。賛同します。
Kato Hirofumi	賛同します。
飯塚 光司	白老のアイヌコタンには、残念ながら2020年4月24日のアイヌ民族博物館オープンに行けません。…白老は登別の隣の部落です。登別は蝦夷山椒魚のtypeが1911年に採集された場所です。1980年代に実施した台湾山地調査ではタイヤル族に、また定年退職後、2019年にかけて行った北海道プロジェクトではアイヌ民族に魅せられました。
七里 有三	アイヌはこの先住民だからねともに分かちあわなければ
Matsuda Tatsuji	アイヌに土地を返せ
野田 俊哉	多くの人の賛同を！和人もアイヌも平等に！！
上野 尚	賛同します！
KADOYA YURI	賛同します。
谷 美穂	私自身の問題として賛同します
桑島 幸恵	元々この土地に住んでいたアイヌの暮らしと伝統と文化を尊重してください。
横山 哲也	訴えと要求について全面的に賛同いたします。
橋本 美緒	賛同します！
谷内山 恵	宇梶様の活動を生活クラブを通じて、陰ながら応援して来た者です。少数派の声が届く社会に少しでも近づきますようにお祈りしています。
keiko silbermann	他の人々の大切なものを奪い取ることに加わりたくありません。アイヌを含め多くの先住民族の方々の権利が保障され守られることは、私たち=後から来た多数派にとっても私たちの存在の仕方に関わるとても大切なことだと感じています。
藤吉 求理子	国家が暴力と権力で奪った権利は、アイヌに戻すべきです。
工藤 昌晴	権利回復を強く求めます。
渡邊 潤一	国内の多様性と過去に犯した過ちを認められない国に対して誇りを持てるだろうか。少なくとも私は恥ずかしいと感じる。
谷口 滋	畠山さんの当然の権利行使に心から敬意を表します。
栃木 裕	アイヌモシリをアイヌに返せ
Neo Sora	もっと完全なる先住民族の権利の回復に向けて応援します。
im ka	もともとは北海道はアイヌ民族の独立したところ。主権はアイヌ民族にある。
吉城 和歌子	賛同します。
saito ichi	先住民であるアイヌの人たちの権利行使を支援します。
古川 正博	みなさんの活動を応援しています！

Kato Mamiko	鮭を国家に一方的に独占させておく道理はありません。国家は日本に住む人々の権利を守るための機関にすぎません。カムイチェブに対するアイヌの権利回復は、日本に住む全ての人の様々な権利回復の第一歩となるよう早急な法改正を望みます。
黒田 恵	北海道は、アイヌ民族の土地である事。アイヌ民族は、自然に生かされ、自然とともに、生きてきた民族です。自然の摂理を尊重し、その中に暮らす人々です。狩も、必要な分だけ。自然の至る所に神は宿り、感謝のお供えと、自然を遺す為に自制する。後から、北海道に入ってきた「本土」の人間の方が、強欲極まりない。アイヌ民族の土地で、アイヌ民族の暮らしと文化を尊重するべき。欲深なのは、誰か……行政は、謙虚になれ。行政は、歴史を真摯に学びなさい。行政は、人権を守る立場である事を忘れるな。アイヌ民族の自決権を尊重して下さい。
石田 英士	何が密漁なんだか。まったく問題ないじゃない。大事な儀式が滞りなく出来るよう祈ってます。
須田 玲子	アイヌの文化に無智な権力者（たまたまその時に権力を握っていた人）が、人々に深い悲しみ、苦しみを与えてしまった。
趙 秋子	アイヌの差別許しません！賛同します！
金正則	ちゃんとした国になりましょう。
Avery Fane	当たり前だろう
KUWAHARA HARUO	賛同します。日本は単一民族国家ではなく、様々な背景の人たちの文化、風習、権利が尊重されなければなりません！！
terao hitoshi	鮭は、自然は、文化は、誰のもの？
Makiri Sei	日本政府は今すぐアイヌの先住権を認めてください。アイヌ新法で保証されるべきだった権利です。
Nakanishi Yusuke	アイヌがアイヌらしく生きられる社会になりますように。
榊原 諭	このように不便を強いられてきた方がいらしたことを知らなかった不明を恥じると共に、賛同します！
松坂 克世	賛同！
Nishikawa Mahito	全面的に賛同します☑
Kyundae Kang	アイヌ民族が何千年も大切に守ってきた彼らの文化と権利の制限を日本政府はやめるべきです。それは彼らの尊厳に関わるのです。
山本 英司	微力ですが、行動を続けたいと思います。
悟 山下	賛同
藤田 郡司	取り戻しましょ！
SAKASHITA Yumiko	当然のことです。民族自決が本来だと思っています。
池野 栄樹	我々を生かし、恵みを与えてくれる自然に畏怖と感謝の念を込めて。
Kaneko Martin	サケ漁は先住民族アイヌの文化。日本が先進国でありたのなら、そのサケ漁のアイヌ民族の権利を認めねばならない！
武田 好史	この問題は、アイヌに限った問題ではない!?このような無謀を正当化してきたのが近代化であり、現代では「あたりまえ」としてまかり通っているさまざまな現代の詭弁であり、歪められた歴史観である。ことに虐げられ、掠奪されてきたマイノリティへの理解なくしては未来の俸せはないだろう…
Hagino Naoji	先住民族アイヌの皆さんが自由なカムイチェブ漁をできるようにすべきだと思います。
武者 龍男	趣旨に賛同します。
Hayashi Takefumi	賛同します。日本も賛成した先住民族の権利に関する国際連合宣言の精神に反すると思います。行政の画一的な対応は、アイヌも同じ日本人だから日本の法に従うべきだという考えが背景にあると思います。「日本人」とひとくくりにする思想と心情が、在日外国人に対する排外主義とともに広がっていることを大いに危惧します。
新倉 常代	賛同します。

# 署名用紙 Signatures

# カムイチェプ＝サケ に対するアイヌの権利回復を！

## Regain The AINUS' Right for Kamuycep!

Kamuycep, salmon in AINU, swims up a river from the sea in autumn. It has approximately been 150 years since the Japanese Government monopolized the spawning kamuycep in Hokkaido, that is one of the most valuable natural resources to AINU peoples. Then, they have been restricted to the self-management for kamuycep fishing. WE claim to regain the AINUS' right for kamuycep.

カムイチェプは「神が与えてくださった魚」を意味し、秋に海から川をさかのぼってくるサケを指すアイヌ語です。

アイヌにとって、もっとも大切なカムイチェプを、日本国家が一方的に独占しておよそ150年。先住民族アイヌは、自由なカムイチェプ漁を厳しく制限され続けてきました。アイヌがカムイチェプ＝サケを採るための許可を得る必要があるのは、大自然の神たちだけです。

私たちは、カムイチェプ＝サケに対するアイヌの権利回復を訴えます。

## アイヌ（＝ひと）の権利をめざす会

共同代表 貝澤耕一／萱野志朗／田澤 守／OKI／宇梶静江

内閣総理大臣ならびに北海道知事 各位

## カムイチェプ＝サケに対するアイヌの権利回復を訴えます

署名 signature	住所 address

取りまとめ・署名簿の送り先

〒060-0061 札幌市中央区南1条西5丁目

愛生館ビル5F 501 NPO 法人さっぽろ自由学校「遊」内

アイヌ政策検討市民会議事務局

TEL:011-252-6752 FAX:011-252-6751

<https://kamuycep-project.jimdofree.com>



ネット署名